

老後生活支援基金の創設について

親亡き後も安心してアンサンブルでの生活を送るために

平成 29 年 9 月 1 日（福）アンサンブル会

改めてアンサンブル会の目標を述べますと

1、障害のある人たちも健常者に負けず積極的に社会参加をしながら生きて行こう

2、親子もたれ合いの人生ではなく自立した人生を生きよう というものです。

これはやさしく言えば社会に受け入れられる仕事をし、グループホームで仲間と生きるということなのです。

アンサンブル会ではご承知のようにこれまで「工賃がゼロになる日のために」「利用者の皆さんが働けなくなった老後の生活保障のために」ということを考え、その日のための準備を6年前から始めています。自立した人生を年を取っても貫くためにです。

今回この計画をもう一度見直し、将来の混乱が起きないようにしっかりした仕組み作りを検討し表題の「老後生活支援基金」という制度を創設することにしました。

まず大前提としてこの基金の創設にあたっては、利用者本人およびご家庭からの金銭的負担はまったく求めないという点です。つまり法人アンサンブル会自体の判断と裁量で「アンサンブル利用者の安心できる老後のために」おこなう制度創設なのです。

ですからご家庭からの建設的なより良いアドバイスがあればお聞かせいただきますが、この基金についての賛否は求めないことをご承知おき下さいますよう。

また誤解のないようにここで再確認しておきますが、アンサンブルに所属しグループホームで自立した人生を送っている人を対象としていることをご承知おきください。

この基金を作るに当たって心掛けたことは

- ・働けなくなっても今と同程度の生活が可能な経済的うらづけを作る
 - ・一級年金と二級年金とで年額約 20 万円の差があるが、老後については結果の平等＝可処分金額（自由に使える金額）をほぼ同額とする
 - ・長くアンサンブルに在籍し準備してきた人ほど、長期にわたる支援が受けられる仕組み（50 才でアンサンブルに入ってきて 55 才で働けなくなった人が、最初から頑張ってきた人と同じ保障を受けられることはありません。その意味で公的年金の考え方と同じ）
- 以上の考えに立って「老後生活支援基金」を利用した老後の生活の例を書いてみます。

障害基礎年金 2 級の方の 1 か月当たりの収支

<p>現在の生活 家庭からのお金の持ち出しはゼロ</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">〈収入〉 障害基礎年金</td> <td style="text-align: right;">65,000 円</td> </tr> <tr> <td>工賃</td> <td style="text-align: right;">30,000 円</td> </tr> <tr> <td>国の家賃補助</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td><small>消費税増税による</small> 障害年金給付金</td> <td style="text-align: right;">5,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">収入計 110,000 円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>〈支出〉 ホーム利用料</td> <td style="text-align: right;">60,000 円</td> </tr> <tr> <td>給食費負担</td> <td style="text-align: right;">4,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">支出計 64,000 円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>〈差引残高〉</td> <td style="text-align: right;">差引計 46,000 円</td> </tr> </table>	〈収入〉 障害基礎年金	65,000 円	工賃	30,000 円	国の家賃補助	10,000 円	<small>消費税増税による</small> 障害年金給付金	5,000 円		収入計 110,000 円			〈支出〉 ホーム利用料	60,000 円	給食費負担	4,000 円		支出計 64,000 円			〈差引残高〉	差引計 46,000 円		
〈収入〉 障害基礎年金	65,000 円																								
工賃	30,000 円																								
国の家賃補助	10,000 円																								
<small>消費税増税による</small> 障害年金給付金	5,000 円																								
	収入計 110,000 円																								
〈支出〉 ホーム利用料	60,000 円																								
給食費負担	4,000 円																								
	支出計 64,000 円																								
〈差引残高〉	差引計 46,000 円																								
<p>グループホーム利用 <u>11 年目から</u></p>	<p>ホーム利用料から月額 10,000 円を老後生活支援基金に積み立てる。これに伴う利用者・保護者の金銭的な負担はありません。</p>																								
<p>働けなくなった老後の生活 グループホームの利用料を 1 万円値下げ</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">〈収入〉 障害基礎年金</td> <td style="text-align: right;">65,000 円</td> </tr> <tr> <td>工賃</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>国の家賃補助</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td><small>消費税増税による</small> 障害年金給付金</td> <td style="text-align: right;">5,000 円</td> </tr> <tr> <td>老後生活支援基金より</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">収入計 90,000 円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>〈支出〉 ホーム利用料 (値下げ)</td> <td style="text-align: right;">50,000 円</td> </tr> <tr> <td>給食費負担</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">支出計 50,000 円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>〈差引残高〉</td> <td style="text-align: right;">差引計 40,000 円</td> </tr> </table>	〈収入〉 障害基礎年金	65,000 円	工賃	0 円	国の家賃補助	10,000 円	<small>消費税増税による</small> 障害年金給付金	5,000 円	老後生活支援基金より	10,000 円		収入計 90,000 円			〈支出〉 ホーム利用料 (値下げ)	50,000 円	給食費負担	0 円		支出計 50,000 円			〈差引残高〉	差引計 40,000 円
〈収入〉 障害基礎年金	65,000 円																								
工賃	0 円																								
国の家賃補助	10,000 円																								
<small>消費税増税による</small> 障害年金給付金	5,000 円																								
老後生活支援基金より	10,000 円																								
	収入計 90,000 円																								
〈支出〉 ホーム利用料 (値下げ)	50,000 円																								
給食費負担	0 円																								
	支出計 50,000 円																								
〈差引残高〉	差引計 40,000 円																								

障害基礎年金 1 級の方の 1 か月当たりの収支		
現在の生活 家庭からのお金の持ち出しはゼロ	〈収入〉 障害基礎年金	81,250 円
	工賃	0 円
	国の家賃補助	10,000 円
	<small>消費税増税による</small> 障害年金給付金	6,250 円
	収入計	97,500 円
	〈支出〉 ホーム利用料	60,000 円
	給食費負担	0 円
	支出計	60,000 円
	〈差引残高〉	差引計 37,500 円
働けなくなつた老後の生活 グループホームの利用料を4千円値下げ	〈収入〉 障害基礎年金	81,250 円
	工賃	0 円
	国の家賃補助	10,000 円
	<small>消費税増税による</small> 障害年金給付金	6,250 円
	収入計	97,500 円
	〈支出〉 ホーム利用料 (値下げ)	56,000 円
	給食費負担	0 円
	支出計	56,000 円
	〈差引残高〉	差引計 41,500 円

ご覧のように老後の自由に使えるお金は

- ・一級の方は現在の 37,500 円 ⇒ 老後 41,500 円
- ・二級の方は現在の 46,000 円 ⇒ 老後 40,000 円

となり、両者ともほぼ月額 4 万円で結果的に同等の額が保障されます。